

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-06)

団体名	(一社) パートナーズ	代表者名	代表理事 玉木 貴代子
事業名	ひょうご・こどもコミュニティラボ		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
毎月第3 (日) 計9回	市営キャナルタウン 南住宅集会所	のべ50 (のべ48)	ロボットプログラミング 講師：(株) S&F PARTNERS プログラミング教室Makids講師
7月26日	市営キャナルタウン 南住宅集会所	11 (2)	こども陶芸教室 講師：工房我楽多 富田幹彦先生
8月 6日	レンタルスペース エーフレ	15 (5)	デコレーションケーキ教室 講師：レーブドゥシェフ 佐野靖夫シェフ
8月16日	市営キャナルタウン 南住宅集会所	4 (2)	理科実験教室 講師：SpaceMORI 理科実験教室 森永和子先生

<効果と成果>

小・中学生の学校外での文化体験活動の機会が減っており、コロナ禍でさらに学校内での体験機会までも失われていますが、地域で継続的に関わり、こどもの主体性を引き出す支援として、特に学校教育で十分に補えないロボットプログラミング、文化体験活動の機会を創出することができました。学校外での地域のプロ講師との関わりにより、こどもの興味関心がさらに高まったようでした。大勢で集うことが叶わなくなっている状況でしたが、少人数で充実した体験と学びが受けられたようでした。

<今後の展望>

一般的なロボットプログラミング教室のレッスン料は高額なため、生活困窮あるいは要配慮家庭では受講が叶わず、教育格差がさらに広がる分野となっています。貧困の負の連鎖を断ち切るため、こどもへの教育機会の均等と学習支援の促進のために今後も地域での働きかけを継続していきます。体験機会や自信が持てない小・中学生の支援を地域で行うことにより、本人の主体性を引き出し、自己肯定感や認知力を高め、将来の可能性を拓けるきっかけづくりを行います。本人の変化を保護者と共有し、家庭への支援にもつなげていきます。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	350,000
参加費	25,700
自己資金	229,295
合計	604,995

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	人件費	61,000	56,000
	謝金	190,000	180,000
	広報費	68,211	0
	材料費	161,950	114,000
	その他(会場費、雑費等)	14,840	0
	小 計	496,001	350,000
間接経費(一般管理費)		108,994	0
合 計		604,995	350,000